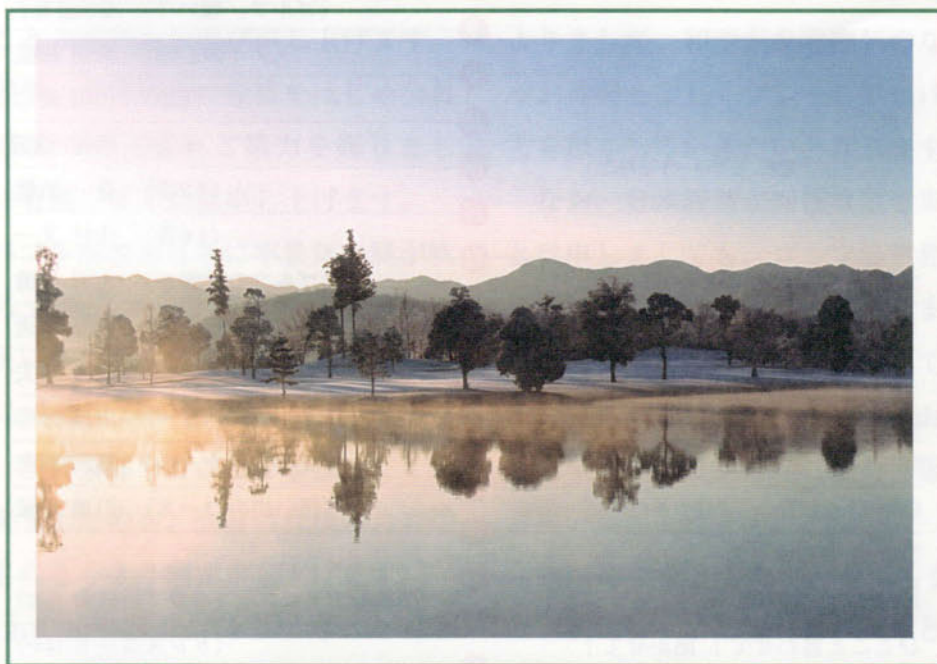


THE Olympic Golf Club



JANUARY 2007 Vol.15



大川 清

みなさまが仲良く、家族的な雰囲気倶楽部が私の希望なんです。



飯田 洋三

ゴルフに相応しい服装とは、上品・優雅な印象の中にも機能性がやどること。



岩本 純治

ライフスタイルの中でのゴルフ。ソフトでリラックスできる時間が大事ですね。



五嶋 雅徳

テラスでの会談、実にリラックスできますね。いろんな価値を活用したいですね。



川島 好彦

「家族的な風土」をどう育てていくのか…これをテーマに盛り上げていきたいですね。

バラゴルフクラブ」で1744年に設立されたんですが、その規則の第1ページに、「ゴルフに相応しい服装とは…相手に不愉快な印象を与えず、上品・優雅な印象の中にも機能性がやどること」とあるんです。まさに、これにつきると思います。

大川 その通りですね。いい表現ですね。

岩本 ここ数年で極端に客集めに重点をおいて色々なことをするゴルフ場が多くなり、今いわれたようなエチケットやマナーのことを全然いわずに自由にプレーさせる、グリーンフィも格安のゴルフ場が増えてきました。クラブの品格や質を保ちたいと思っているゴルフ場は、ますます難しくなってきましたね。

大川 コースの品位というのは、メンバーさんも社員もみんなで気をつけて遠慮せずに、ゲスト・ビジターに案内する必要がありますね。

川島 あくまでも自己責任ですが、エチケット・マナー向上委員会なんかを設けて、その人たちを中心に啓蒙していくのも一つの方法ですね。

岩本 ヨーロッパ・アメリカのゴルフ場にいくと、結婚式だとか色々なパーティをしてることが多いですね。ただゴルフをするだけでない「ゴルフ&カントリークラブ」でその地域の人がそのクラブで色々な催しでエンジョイする、盛りたてて皆で楽しんで、海外のゴルフ場ではそういったことで雰囲気が非常にソフトでリラックスしていて従業員もそういった心得もある。

五嶋 実は、今日このレストランのテラスでこういう雰囲気って初めてなんですけど、テラスからコースを眺めるの、実にリラックスできていいですね。こういった雰囲気が倶楽部全体に漂うって

いいですよ。皆さんも大いに活用されたいと思いますね。

大川 会員の皆さん同士は、非常に仲良くやって頂いてますが、このように仲良くて家族的な雰囲気いっぱい倶楽部が私の希望なんです。

飯田 私は息子と二人で来ることが多いんですが、私たちの組に他の会員が入って頂いてもいいので、どんどん一緒に組み合わせて下さい。

五嶋 会員同士の交流をもっと深めていく、もっと親しくなるという面で、本年度から「新入会員の懇親競技」を年に2回開催することになりましたが、こういったイベントなどを皆で考えて、会員皆で楽しい雰囲気を作っていくことが、これからのテーマのような気がしますね。

川島 これからは「ハード・ソフト」(コースのすみずみまで)を充実させながら、その次に一番大事な「人」・「ハート」(クラブライフ)を今後どのように育てるのかを考えていく。またオリンピックのことをもっと広く広報というか、宣伝でなくて、知らせていく必要があると思います。その中に、気品のある倶楽部運営とか、エチケット・マナーのことを入れていけば良いと思います。

五嶋 新しい年を迎え、品格のある「家族的な風土」を持った我が倶楽部、オリンピックにする為に会員みんなが率先し意識をもって進めていけばどんなに素晴らしいことかと思います。

本日は、とても興味深い楽しいお話をたくさん聞くことが出来ました。ありがとうございました。

写真は左記 HP で見られます。(http://cityserve.jp/golf/)

世界のゴルフ場から、 これからのオリンピックを探る…。

名コースには“人”がいた、「家族的な風土」

出席者：大川 清・飯田 洋三・岩本 純治
聞き手：五嶋 雅徳・川島 好彦



五嶋 明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、お集まりの皆さんからオリンピックゴルフ倶楽部が更に飛躍するヒントを見出したいと思います。飯田さん、岩本さんとも商社の重鎮であられた方で海外の事情もお詳しく、大川さんは海外での試合の経験も多くお持ちですので、面白い、楽しい海外での経験談をお聞かせ頂きたいと思います。進行は、数々の世界のコースを回られている川島さんをお願いしようと思います。

印象的な海外のコース

川島 世界のゴルフ場を回られて、こんな所が、こんなことがあったなど印象に残ったお話しをお聞きしたいのですが。飯田さんお願いします。

飯田 「アイル オブ マン」というイングランドとアイルランドの間の海峡にある小さな島があり、今から25年ほど前に「キャッスルタウン ゴルフ リンクス」という非常に景観の優れたゴルフ場に6人で行った時のことです。コースは勿論素晴らしいんですが、とても感銘を受けたことがありました。そのゴルフ場に入りますと、キャディをするという10歳位の子供達が5・6人待機してたんです。こんな小さな子供が…と思ったんですが、我々の中で180cmを優に超える大男に、一番小さな女の子がついたんです。きつい上り坂になるとその子の体力ではカートを引っ張っていけなく、結局、8割ぐらいはその巨漢が自分でカートを引っ張って、その小さな女の子と手を

つないで歩いてるんです。その二人の姿とコースの光景がとても美しく大変印象に残っています。ゴルフは人柄のいい人達とプレーしたいなとその時つくづく思ったものです。

景観で一番印象に残っているのが、コロラド州の「アローヘッド ゴルフ クラブ」。コース中に巨岩、巨石があるんですが、例えば、パー3ではそのホールの両側に岩の屏風が立っているかのように巨岩が並んでいて、その間を抜いて打ち下ろす、これは素晴らしい景観で、とても日本では望むことも出来ないコースでした。

川島 では、岩本さんはいかがですか？

岩本 中近東ドバイの「エミレーツ ゴルフ クラブ」。毎年ヨーロッパツアーを開催しているコースですが、クラブハウスがドーム状のテントのようなデザインで、砂漠の国にこつ然と緑の綺麗なコースがあるのに非常に興味しました。水のないとこ



キャッスルタウン ゴルフリンクス



アローヘッド ゴルフクラブ

ろでどのようにして真っ青に維持するのか、海水を真水に変えて管理してるとのことですが、年間通じてグリーンを保つのは、砂漠の国では大変な苦労があると思います。

川島 ドバイで一番古いコースは「ドバイ カントリー クラブ」で砂漠の中に砂漠を生かして作られ、



エミレーツゴルフクラブ



ドバイカントリークラブ



St. アンドリュース



カンボデゴルフカフィレス (現、ティースオブドック)



クラブデゴルフメヒコ



シャードークリークGC

打つ時はその都度、マットを敷いてショットするところもあります。

岩本 以前会報誌 (Vol. 3) で書きましたが、スコットランドの「St. アンドリュース」には、ダンヒルカップのアマプロに10年間連続で参加しましたが、毎年訪れるたびにこのゴルフ場の美しさには新たな感動を覚えます。また、有名なクラブハウスの裏側には何百年もの歴史を感じる町並みが展開しており、何度行っても飽きる事はありません。

川島 大川さんは海外で試合を多く経験なさってますがいかがですか？

大川 1974年の世界アマで行ったドミニカ共和国の「カンボデゴルフカフィレス」(現、ティースオブドック)。コースのど真ん中に飛行機の滑走路があるんですが、そこからキューバが見渡せるぐらい近いので、試合中に軍隊がコースの陰で高射砲などを配備して非常に気持ち悪かったですね。(笑) パーティでは、大統領がわざわざ選手たちに握手してくれたことも印象に残ってます。コースは海岸の入江をうまく取り入れて、プレーヤーの力量によって狙えるようにレイアウトされていて素晴らしい景色で、それと当時あれだけアンジュレーションのきついグリーンは初めてだったので3パットを沢山しました。

メキシコの「クラブデゴルフメヒコ」は非常

に雄大なコースで、コースが出来るために自然な丘陵地帯をなしているといったような、高低の差がゴルフコースに理想的な素晴らしい地形なんです。が、なにせびっくりしたのが、それは大きなユーカリ、杉や松がそれぞれ本当に天にそびえ立っている…大人二人でも抱えられないほどの大きさにびっくりしました。

川島 先ほどのドバイのように砂漠に真っ青なゴルフ場が出来るといえば、ラスベガス、これが今一番ホットな所ですが、ラス Vegas のホテル王が造った「シャードークリークGC」。当初は、午前1組、午後1組しか回れない。でどんな人がプレーするかというとカジノの上得意さん。ということは多く負けた人しかプレーできない。(笑)

コースにはヤーデージなど標識が一つもなく、キャディが全て案内するのですが、コースの中に行くとジョージア州の森林のしっとりとしたコースにいるような錯覚をするほど緑豊かなコースが砂漠の中に作られているのにびっくりしました。

もうひとつは「ウルフクリークGC」。これは、溪谷(茶色の荒地)の谷間に芝(緑)を敷き、真っ白なバンカーを置いた感じ。まさに、奇想天外なゴルフ場でした。(会報誌 Vol. 10)

川島 まだまだお聞きしたい話もあるのですが、とって置きの話を一つずつお願いします。

飯田 ロンドンの郊外に犬を連れて回れる唯一の

ゴルフ場があります。英国人の友人が誘ってくれて、彼は犬を連れて来てました。その内ティグラウンドの横で犬が粗相をしましてね。見てましたら、彼、知らん顔してアイアンで、ポン・ポンとラフに打ち込むんで、「大丈夫なの？」と聞くと、澄ました顔で「我が犬の粗相も、我がアイアンも神聖なものであるから汚れない」（笑）結構楽しみました。

川島 英国のゴルフ場には名物スターター、名物キャディがいるとか、売店に人気者のおじさんがいるように、ゴルフ場の中に人が感じられる、そういった名物の人がいることに魅力を感じます。

岩本 「香港ゴルフクラブ」には18Hが3コースあり、日によって各々2ボール（2人で回る）、エニーゲーム（2人でも3人でも4人でもいい）、2ボールアンド3ボールコース（2・3人で回れる）という風に決められているのでスムーズに回れ、面白いシステムだなと思いました。（会報誌Vol.5）

大川 コロラド州の「ブロードムーアゴルフクラブ」。世界シニアを取ったところですが、1700m以上の高地で、少し速く歩くと息切れがするほど空気が薄く、2クラブぐらいボールが飛びます。優勝した時、皆さんから気持ちよく祝福して頂いた光景は今でも焼きついています。（会報誌Vol.2）

川島 今まで回られたゴルフコースを話して頂いたんですが、その経験の中からオリムピックに生かせる・生かしたいという点でお話し下さい。

岩本 ロンドンの郊外にある世界マッチプレーで有名な「ウェントワースゴルフクラブ」にも何回か行きましたが、ラフが深く非常にタフなコースでした。競技志向のプレーヤーには面白いコースでしょうが、エイジョイ型のアベレージゴルファー

には難しいコースでしたね。

大川 岩本さんのお話のように、全てのゴルファーが楽しめるのがコース設計の一番の条件だと思ってます。ですから、ハンディに合ったスコアが出るように、スクラッチプレーヤーがしっかり頑張らないとパープレーしにくい、ハンディ18のひとが回ったらボギープレーできる、その人の実力に応じたスコアがでたら楽しいな、といった気持ちで造りました。難しくしようと思えばいくらでも難しく出来ますが、やはり、普遍的に楽しめる、老若男女どのように組み合わせても楽しく回れるコースに仕上げることを基本にこれからもその様な気持ちでやって行きたいと思います。

クラブの品格

飯田 コースについては大川さんを中心に考えて頂き、どんな倶楽部にするのか、ということは、あくまで会員なりゲスト、全てのプレーヤーがこのゴルフ場でどういったゴルフをするのが重要になりますね。

最近、心配しているのが、ゴルファーの服装がカジュアルになり過ぎたと思うんです。私、本来はファッションが専門なんですけど、カジュアルな方へと流れていくものなんですけど、あんまりカジュアルになると、ハワイなどのリゾートコースだったらいいんでしょうけど、ちゃんとしたメンバーシップのコースでは具合悪いと思いますね。そんなに堅苦しいことをいう必要はないんでしょうけど、ある程度の歯止めは必要ではないかと思います。世界で一番古いゴルフクラブが「ジ・オナラブルカンパニーオブエディン



ウルフクリークGC



ブロードムーアゴルフクラブ



ウェントワースゴルフクラブ

ゴルフの練習3 [ストレートボールと持ち球]



大川 清

ストレート、ドロー、フェード、フック、スライス、高い球、低い球と様々な球筋の練習があるが、まずストレートボールはどうしたら打てるのか、その原理を身体で覚えることが肝心である。

ストレートボールの標準の構えは、ボールと目標を結んだ線に対して肩、腰のラインが平行になるよう構える。基本のボールの位置は、左足の踵の内側の線上で、グリップの位置は左太もも内側に定める。クラブを振り切り易くなるよう前屈みになり過ぎず、腰を少し下げ懐を広くとる。以上挙げた体の向き、体勢、ボールの位置、グリップの位置が常に同じ位置にくるように心がける。

次にテークバックの始動は、ボールと目標を結んだ線に沿って真っ直ぐ引き、その時にクラブのフェースの面が変らないよう上げるには、左手の小指でクラブを気持ち浮かせて持ち、ヘッド、左手小指、左肩を同時に始動することが肝要である。他の指は柔らかくグリップ全体を包み込み、右手の中指と薬指はグリップと隙間が空かないようにグリップ右真横に添えてやることにより手とグリップを一体化させる。下半身の動きは、テークバックの時にヘッドアップ、右膝がスエイしない

よう肩と腰の回転を助ける為に、左膝が右膝を迎えに行って連れて帰る膝の動作を同時に行なう。フォローからフィニッシュにかけて全体重が左足に移動するよう心がけ、フィニッシュの時には左足一本で立てる余裕が必要である。フォローでボディターンが無いとボールはフックするので、インパクトからフォローにかけて腰を回転させ、フィニッシュでは身体の正面が目標を指すように練習する。

ある程度ストレートボールが打てるようになり初めてコントロールの利いたフェード、ドロー、スライス、フック各種様々なボールが打てるようになるので、気長に練習を楽しむことがゴルフ上達にも身体の健康にも一番である。(続く)

STANCE



飛行線とスタンス

テークバック



膝の動き

